



2015~2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

会長/小野喜明 幹事/度会尚志 会報委員会/廣田 篤・中村嘉輝 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心
30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう
30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第28回 通算1420回 平成28年2月9日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/26 修正出席率
		60名	32名	61.5%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:彦坂育甫さん(渥美) 山本博正さん(渥美) 吉川庄三さん(豊川)

★会長あいさつ

小野喜明会長



皆さん、こんにちは。ご存じのとおり、昨日は中国の新年にあたります。中国語では「新年快樂、恭喜發財」と言って、「新年あけましておめで

とう、お金がたまっておめでとう」という意味です。今日は、国際奉仕委員長が暦のお話があります。

今日のご報告がいくつかあります。

地区より縦山会員に来年度RYLA委員会委員の委嘱状が来ております。RYLA委員会委員長は縦山会員の盟友であります豊川クラブの竹内幹久会員です。



次に、RIより会員増強に貢献した賞でブロンズ銅賞が度会幹事に来ております。贈呈します。度会幹事も竹内委員長の盟友です。また、30周年記念式典の時にアトラクションで豊川工業高校の吹奏楽部に演奏をおねがいしました。それがご縁で楽器の寄贈をさせて頂いています。皆様の浄財と楽器ドラムセット2セット、打楽器を寄付しました。大島会員からこの度トランペットの寄贈がありました。たぶん大変愛着のある楽器だと思いますが、豊川工業高校へ3月末ごろ寄贈させていただきます。

★幹事報告

度会尚志幹事

例会臨時変更のお知らせ
ロータリー手帳の注文受付
豊川高校から駅伝出場報告
ガバナー月信2月号
砥鹿神社から新宮司の報告
豊橋東RCから20周年の御礼状

★渥美RCのPRタイム

ガバナー補佐 彦坂育甫氏

4月2日分区ゴルフ大会のPR
渥美RCの菜の花・桜まつりの開催のPR



★国際奉仕担当例会

卓話「世界の暦・カレンダー」



こんにちは。今日は国際奉仕の担当例会です。世界の暦とカレンダーの話をして頂きます。

世界の暦には、日本でも使っている旧暦と新暦があります。旧暦の中にも、イスマラが使っている月の満ち欠けで行う太陰暦と、中国で使われている太陰太陽暦、そして現在のカレンダーで使われている太陽暦があります。

日本は、明治5年に太政官布告第342号が制定され、紀元2676年の旧暦1月1日に神武天皇が即位して日本が始まったとされています。

今の法律として出来たのが、昭和54年10月23日の閣議報告の中で元号が定まりました。それ以前にも元号はありましたが「昭和」「平成」と1人の天皇が1代でしか使わない元号法という法律が出来ましたので、現在の天皇陛下が健在の間は、平成と言う年号が続きます。

明治の頃の皇室典範でも元号はありましたが、天平地位があったり、おめでたいことがあると元号が変わったりしました。「養老」という元号がありますが、これは岐阜県の養老の滝からお酒が湧いていて親孝行だったから養老の滝にちなんでつけられた元号です。聖武天皇が大仏を作った時に「天平」でしたが、大仏に乗せる金がなくて、佐渡から金が出たという事から「天平感宝」という元号がつけました。

西暦は、キリストが生まれた時から始まったとされていますが、確かではありません。キリストが生まれて500年ぐらい経ってから暦が始まったとされています。元になっているのは太陽で、キリストの復活祭を基準にされているといいます。冬至と夏至が基準になっているそうです。

太陰暦は、1年が平均354日、閏年は355日の12ヶ月、1ヶ月は30日と29日を交互に配置します。閏年は30年に11回あります。

太陰太陽暦は、1年が平均354日、閏年は

355日の12ヶ月、1ヶ月は30日と29日を交互に配置します。閏年は19年に7回あります。

太陽暦は、1年が平均365日、閏年は366日の12ヶ月、1ヶ月は30日31日と28日の月があります。閏年400年に97回あり、西暦が4で割り切れる年は閏年、西暦が100で割り切れる年は閏年にしない、西暦が400で割り切れる年は閏年になります。西暦2,000年は、4で割り切れて、100で割り切れたけど、400でも割り切れたので閏年でした。

干支は十干十二支と言いまして、一回りして還暦となります。十干（じゅっかん）は、「甲（きのえ）・乙（きのと）・丙（ひのえ）・丁（ひのと）・戊（つちのえ）・己（つちのと）・庚（かのえ）・辛（かのと）・壬（みずのえ）・癸（みずのと）」。十二支（じゅうにし）は「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」で、この組合せで一回りすると60年となります。甲と子の年に出来たのが甲子園です。今年は丙（ひのえ）の申（さる）になります。

カレンダーの中に出てくるお日柄があります。大安や仏滅などあります。これは旧暦の中で決まっています。先負・仏滅・大安・赤口・先勝・友引があり、旧暦1月1日と7月1日は先勝から始まり、2月1日と8月1日は友引から始まり、3月1日と9月1日は先負から始まり、4月1日と10月1日は仏滅から始まり、5月1日と11月1日は大安から始まり、6月1日と12月1日は赤口から始まります。旧正月は必ず先勝、2月15日はお釈迦様の亡くなった日で必ず仏滅、3月3日の雛祭りは大安、4月8日はお釈迦様の生まれた日で必ず大安、5月5日の端午の節句は先負、7月7日の七夕は先勝、8月15日の仲秋の名月は仏滅、9月9日の重陽の節句は大安になります。ですので、閏月が来ると1月が終わって、閏月の1月があり、2月、3月となります。お日柄も同じルールでなっています。これが六曜です。6日サイクルでくるくると回っています。

星座占いの12ヶ月は、太陽暦を使っています。クリスマスは、北欧のミトラ教の礼拝日が冬至の日でした。日本でも冬至は旧暦の11月23日になるので、宮中では新嘗祭が行われ、新しいお米を天照大神に差し上げると言う儀式が行われていました。弱った太陽が新しいお米を食べて復活をするという感じです。キリストも復活する意味で、冬至に合わせて儀式が行われました。ですからキリスト教でも、

日本でも、弱った太陽が冬至から夏至に向い盛んになって行くということです。

旧暦は、2033年から旧暦の定めが出来ないそうです。節分が2月5日に来ることになるそうです。夏至と冬至、春分と秋分の関係からだそうです。これをどうなるのか分かりません。万年歴というのがあるのですが、そこにも2034年以降は載っていません。

日本がどうして太陽暦を採用したのかという話を最後にします。明治6年から太陽暦を採用しました。明治6年に閏月があることが分かり、閏月があると明治政府が13ヶ月分の給料を払わないといけないということから、明治5年12月2日に、明日から明治6年1月1日だと太陽暦に変更をしました。政府にお金がなかったことから太陽暦を採用しました。なので明治6年のカレンダーはとても貴重だそうです。そのような変更の仕方だったので、今でも日本では旧暦を並行して使っています。

★ニコニコボックス

彦坂育甫さん	分区ゴルフに参加を
吉川庄三さん	久しぶりにメーキャップ
山本博史会員	祖母の葬儀会葬御礼
大沢茂樹会員	フェニックス2連勝
伴辰三会員	誕生日を祝って頂き
大木健市会員	結婚記念日を祝って頂き
波多野四郎会員	〃
高桑耐会員	〃
石黒貴也会員	事業所創業を祝って頂き
井指和昭会員	〃
柴田浩志会員	誕生日、入会を祝って頂き



★30周年事業の報告

2月8日に、ミス愛知の里帰り展開催に向けて、青い目の人形が現存する小学校で出張授業第3回目が御津南部小学校で行われました。授業を受けてくれたのは、6年生99名の皆さんです。質疑応答では、事前の総合学習で勉強をされていたので、色んな質問がありました。



会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員